



THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2007年11月 No.306

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2007~2008)	
センテニアルクラブ会長	『明日は明日の風が吹く』
国際会長	『国境なき奉仕』
アジア会長	『国境なき奉仕』
西日本区理事	『確信を持って前進しよう!』
中西部部長	『Y's運動の源流を求めて!』

クラブ役員	Officers
会長	: 三浦 直之
副会長	: 坂本 哲朗
書記	: 石津 雅人
会計	: 藤原 正巳
ネット会長	: 中村 幸枝
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of October

知らずに犯した過ち、隠れた罪から、どうかわたしを清めてください。

(詩篇第19篇12節)

November Club Meeting 『Public Relation Wellness』

11月第1例会

日時: 2007年11月21日(水) 18:30~20:30

場所: リーガグランドホテル3階 葵の間

司会: 奥田敏彦 君

1. 開会点鐘 三浦 直之会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 三浦 直之会長
4. 聖句朗読 鍛冶田 千文君
5. 今月の強調月間 中村 隆幸君
6. 晩餐 一同
7. スピーチ「私の履歴書」 大村 肇君
8. EMCフリートーク 坂本 哲朗君
9. インフォメーション
10. お誕生祝い・ニコニコ献金
11. 閉会点鐘 三浦 直之会長

11月第2例会

日時: 2007年11月28日(水) 18:30~20:30

場所: 大阪YMCA土佐堀会館4階

11月お誕生日: 畠中メネット(2日)

松浦メネット(22日)

例会担当: 2班: 坂本、藤原、中村、奥田、
福永、鍛冶田君

「エノラ・ゲイ」の機長の訃報に寄せて

中村 茂高

広島に原爆を投下したB29「エノラ・ゲイ」の機長、ポール・ティベッツ氏が92歳で亡くなりました。最後まで投下した正当性を疑わなかった人だけに、なんとも心寂しいものが残ります。山崎豊子著「二つの祖国」は、彼女がハワイ州立大学に客員教授で招かれた時、第二次世界大戦時に12万の日系一、二世が収容所生活を余儀なくされた事実を知り、準備に2年、連載に3年の歳月を費やし描かれた大作です。当時の屈辱的な収容所生活の様子や、日米に分かれて戦うことになった兄と弟、日本に戻り直面した原爆の被災、東京裁判と、二世を通して、大戦の様子をできるだけ史実にもとづいて書いたというだけあって、戦争の悲惨さを余すところなく描いています。著者本人も「こんな大きな素材を扱うことは、作家生活のなかでもめったにあるものではない」と語っていますが、戦争を起こしてはならないという著者の気持ちがよく伝わってきます。

ポール氏が広島平和資料館の元館長の高橋昭博氏に対面したとき、「だから戦争は起こしてはならない」と語り、被爆で変形した高橋さんの右手を、30分ずっと握って離さなかったのが、せめてもの慰みでしょうか。

【クラブ統計 Statistics】

2007年10月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	12名	9名	10月: 0g	10月: 10,307円 (07年7月から): 63,814円
例会出席 10名	メネット	4名	0名	現金 0円	
うちメーキャップ 2名	ビジター	2名	0名	(07年7月から~10月の 累計)切手 155g	
出席率 82%	ゲ ス ト	0名	0名	現金 2,000円	
	合 計	18名	9名		

10月 第2例会報告

とき：07年10月17日(水) 18:30~20:20

ところ：土佐堀YMCA

出席者：石津、鍛治田、坂本、田中、谷川、中村茂、藤原、松浦、山田君

冒頭、会員増強策について、現状の認識を含め 意見交換。
1. 11月第1例会は、11月21日(水)第1面のとおり。
大村メンのスピーチ。EMCについて、フリーディスカッションをする。第2例会は28日(水)。

2. 協議事項及び連絡事項

(1) クラブ例会について

12月クリスマス例会は、第1例会が12月19日(水)クリスマスらしく弦楽器の演奏を計画する。第2例会は繰上げて12日(水)。

1月例会は、1月16日「初笑い例会」。演者はこれから折衝。

(2) 土佐堀カーニバル 11月3日(祝・土)

石津実行委員長のもとに開催。わがクラブの担当は、「YMCAひろば」(市民講座、西区ウオークなど)のサポートと、バザー=9時集合(セントラルクラブとの共同担当を予定している)。

(3) 今後の行事

Y・Yフォーラム&EMCシンポジウム

10月27日(土)土佐堀YMCA
チャリーティラン

11月23日(祝)万博公園で、わがクラブは1チームを出す。走者に山田、藤原、松浦メン。畠中メンに女性(1人)を頼む。また、クラブとして、例年通り、設営と安全警備を担当。設営と安全警備を担当(7:30中央ゲ-ト集合)

「関西いのちの電話」バザー

11月10日(日)10:30から、クラブとして関わろう
中西部合同新年会

08年1月14日(月・祝)12時~ 大阪南YMCA

(松浦孝次)

YMCAニュース

土佐堀YMCA祈禱週のつどい

音楽と交わり

世界中のYMCA・YWCAが同じテーマ「何より大切な子どもたち」で祈ります

日時 11月16日(金) 18:30~20:30

場所 大阪YMCA会館

内容 一部 岡村恒牧師(大阪教会)のお話、大阪教会聖歌隊による歌

二部 軽食と交わり

クリスマスのつどい

今年は礼拝も祝会も2Fホールで行います。

日時 12月7日(金) 18:30~20:30

場所 大阪YMCA会館

内容 礼拝(岡村恒牧師(大阪教会)のお話、専門学校生のコーラス、英語讃美歌)と祝会

(鍛治田千文)

落ち込んだ日、疲労感でぐったりの日、達成感で胸が膨らんだ日、嬉しいことがあった日、それぞれが迎える夜は毎日違います。布団の上でこの聖句を思い出しながら一日を振り返ると、おごり高ぶっていた自分が見えてきます。謙虚さの足りない自分を恥じます。そしてあらためて神様が悲しまないように自分であることができればと小さくなりながら思うのです。

聖句選・コメント： 鍛治田千文

10月第1例会報告 (大阪ヴェクセルクラブ合同)

とき：07年10月12日(金) 18:30~20:30

ところ：みなとYMCA(弁天町)

大阪ヴェクセルクラブとの合同例会を開催、29人が集まり交流しました。ゲストスピー-カーには、西日本区EMC主任の澤田賢司氏を招き、クラブの活性についての話を伺いました。メンバーの加齢などにより、若い人たちとの距離感などから、なかなか若い人の獲得が難しい現状を氏は説き、18年後には中西部には人はなくなるのではないかという危惧を訴えました。もっと私たち自身、ワイズの誕生の歴史を知り、何をすればいいのか、また、セレモニー的要素を取り入れ、さらにストーリー性のあるステイタスを築くことを熱い口調で語りました。例会後は、約1時間の茶話会を持ち、大阪ヴェクセルクラブとの親交をさらに深めました。

(中村茂高)

熱弁をふるわれる澤田賢司氏(上)

例会後の茶話会(下)



§ ハワイ最近事情 §

私たちのブラザー、ハワイ・ヌアヌクラブの M.シモニシさんの高校時代の友人に Eric Shinseki さんがいます。この人は、2003年にアメリカ陸軍のトップである参謀総長を務めました。

シンセキ大將は、ハワイの高校卒業後、東海岸のウエストポイント陸軍士官学校を卒業、将校としてベトナム戦争にも従軍、負傷しましたが、最後に陸軍参謀総長に昇進しました。イラク戦争当初に、当時参謀総長として、テロをせん滅し早期に戦争終結のため、軍隊の増派を進言しましたが、民間出身のラムズフェルト国防長官は、これを拒否しました。理由はもっと少ない数の軍隊で、イラク戦争は終わらせられる、との考えでした。シンセキ参謀総長は、国防長官との意見の違いから、一任期中で退役しました。

イラク戦争は今や6年に及び、アメリカ兵の犠牲者は4千人。ブッシュ政権にとって、いまや出口の見えない袋小路です。現在投入している米兵の数は17万とも報じられています。ラムズフェルト国防長官は、イラク政策の失敗の責任をとって今年に入って退任しました。

最近、アメリカで、再度、シンセキ大將の当時の進言が話題になっています。あの当時、彼の作戦で、速やかに手を打ってれば、事態はここまで悪化しなかったのでは、というものです。5月にハワイで滞在したホテルの近くの Army Museum を訪れました。第二次大戦を始め多くの日系人部隊の活躍の様子が紹介されています。その中に、日系人として最高ランキングに昇進したシンセキ大將の功績や、彼の家族が紹介されています。写真で見る限り、決して背の高い人でなく、シモニシさんによると、ごく穏やか人だそうです。しかし、頭脳は明晰で常にクラスのトップであったと聞きます。目下、ワシントン DC 郊外に住み、ハワイに来ると、シモニシさんや同窓生が集まるそうです。

(谷川 寛)

§ ミャンマー・マンダレー総主事からお礼！ §

10月24日(水)午後、大阪 YMCA にてマンダレー総主事のマウ・マウ・ウィンさんに松浦さんと私、谷川がお会いしました。目的は、大阪センテナルが支援しているマンダレーYMCA への献金の使途報告です。事業報告を入手しましたので、次の例会にて報告します。また、報道されているミャンマーでの騒動の様子もお聞きしました。同総主事から、皆様に支援にころから感謝する旨の報告がありました。

(谷川 寛)

§ “ようこそ！ハワイ・ウエストオアフクラブの皆様” §

最近の海外旅行は、名所・旧跡の見物では飽き足らず、現地の人との交流をテーマとしたものが注目を浴びています。これを文字通り実践したのが今回のウエストオアフクラブ(ヌアヌクラブ子クラブ)の訪日旅行でした。一行はクラブ会長の Walter Osakoda さん以下8名、全員が初めての訪日でしたが、9月27日から13日間の旅では、東京・日光・鎌倉・箱根観光のほか、京都や広島では多くのワイズメンと交流し、ワイズメンとしての楽

しさを満喫されました。

京都ではワイズメンの案内で京都タワーや東映映画村を訪ね、友禅染めにも挑戦されました。また、京都プリンスクラブなど京都3クラブの合同例会に出席し、実際のワイズ活動を体験されたほか、歓迎夕食会では大阪・京都地区のワイズメン、ワイズメネットと親しく交流されました。ワイズの醍醐味は海外に行くほど味わえると言われていますが、今回来日されたウエストオアフクラブの皆さんも同じ思いだったと思います。

今回の受け入れに際して特にご協力を頂いた京都プリンスクラブの森、渡辺両ワイズに改めて厚くお礼申し上げます。

(藤原 正巳)



京都・太秦の東映映画村を訪ねて

Club Activities (November, 2007)

On October 13, a total of 29 Y's men, Y's menettes and Y's men's guests were in attendance at the joint dinner meeting of the 2 Clubs – the Osaka Wexel and the Osaka Centennial - held at the Osaka Minato YMCA.

The highlight of the meeting was a speech made by Mr. KENJI SAWADA, service director in charge of EMC of the Japan West Region. He enthusiastically talked over how to revitalize Y's activities in the West Japan Region, analyzing the present membership situation of the various clubs in the Region including our two clubs.

His forecast is that our activities in the West Japan Region will stop existing unless we take proper steps immediately to cope with the decline in membership.

He advised us to improve our club operations - like more attractive programs and activities to attract more new members.

Following his speech, all the participants discussed the speaker's proposals seriously, so that this gathering definitely acted as stimulus to our two clubs.



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

阪和部会を無事終わることが出来みなさまに感謝しております。明日は DBC で信州松本クラブへ、明後日はびわこ部会、毎日ワイズです。

(阪和部部長 遠藤 道寛)

「若い世代をメンバーに欲しい」これはいつも頭にあります。「第二世代を育てよう」をモットーにしましょう。

(なかのしまクラブ 國友 朝子)

10年後、なかのしま 20周年も輝いていたい!

(なかのしまクラブ 桑原 頼子)

会員からのメッセージ

このようにして合同例会を持つことで刺激が有って良いものですね! これからも宜しく願いいたします。

(石津 雅人)

澤田さんの熱い話を伺いました。賛同と反発と疑問と学び貴重な時間でした。

(鍛冶田 千文)

ヴェクセルクラブと合同例会は賑やかでいろいろと刺激になる点が多く有意義でした。澤田 EMC 主任の話は感じるどころがありました。

(坂本 千春)

ヴェクセルクラブとの合同例会良かったです。弁当とてもおいしかったです。

(坂本 哲朗)

ヴェクセルクラブとの合同例会は新鮮でした。そして澤田 EMC 主任の迫力あるお話は勉強になりました。皆様に感謝申し上げます。有り難うございました。

(隅田 恵子)

ヴェクセルとの合同例会大変エンジョイしました。澤田 EMC 事業主任の活性化への刺激大いに参考になりました。

(谷川 寛)

こんなに熱いスピーチは初めてです。熱い拍手を。

(中村 幸枝)

合同例会新鮮でした。様々な刺激を受けました。

(中村 茂高)

澤田 EMC 事業主任の熱弁に種々考えさせられた例会でした。多謝!

(福永 嘉彦)

澤田 EMC 事業主任のワイズを憂う気持ちがよく伝わりました。惰性に流されてクラブ運営行っていることなど反省すべき点も多数あることに気づかされたひとときでした。

(藤原 正己)

ヴェクセルクラブさんありがとうございました。澤田さんのスピーチワイズメンズクラブのありよう、理念、方針、運営について改めて考える機会を与えて下さったことに感謝。今しばらくお待ち下さい。

(松浦 孝次)

澤田事業主任の熱弁に圧倒されながらも何か一つでもクラブのエネルギーとしたいものと考えて過ごした時でありました。老兵ではありますがまだ再燃させるエネルギーも残っているつもりです。ギブアップするつもりはありません。

(山田 孝彦)

やっと秋めいてきましたが EMC 澤田主任のスピーチをお聞きし心は更に熱く燃えています。ヴェクセルの方の心遣いに感謝いたします。

(三浦直之)

ヴェクセルクラブとの合同例会楽しかったです。澤田賢司さんのきびしい話ありがとうございました。

(山村利子)

中西部 Y Y フォーラム & EMC シンポジウム報告

とき: 07年10月27日(土) 13:00~16:45

ところ: 土佐堀 Y M C A

出席者: 卜田中西部長、大野 Y サ・ユース主任、澤田 EMC 主任、中西部両主査ほか、Y M C A 田中副総主事と連絡主事数人も出席あり、計約 50 人。わがクラブからは 山田、坂本、松浦君

EMC (とくに会員増強) と Y Y (ワイズと Y M C A の関係) は、切って切れぬ関係にあるので、合同の開催となった。ワイズと Y M C A の関係は、現状はどうか、そしてどうあるべきか。

一部の地区を除き、クラブメンバーの減少という危機的状況にあること、どう立て直すか 重い課題について、全体とグループ討議を行った。

わがクラブとしても、10月例会で EMC について問題提起をうけており、解決策を真剣に講じる時期であり、討議は有意義だった。個々の議論はさておき、私見を交えて問題点を整理してみた。

(1) ワイズと Y M C A の関係

「ワイズクラブは第一に Y M C A のためのサービスクラブである」そして「健全な交友関係をつくりだす」こと(ワイズ綱領)と、明確である。Y M C A を度外視したクラブはありえない。それにいかに色付けをするかである。また連絡主事の役割は大変重要。

(2) クラブ例会などのクラブ運営について

きちりとした例会運営(会場、プログラム、出欠、メンバーの役割・担当、服装、儀式...)をやっているか、今一度今一度見直す必要がある。けじめをつけたクラブ運営であること。

(3) 各ワイズクラブの特色、個性はなにか 「わがクラブはこれをウリにしています」特色・個性を明確に打ち出す必要がある。事業(ex. CS 事業は?)、会場、プログラム等々。

(4) もっと情報発信をしよう 地域に対して、ワイズの存在をアピールしよう。団塊の世代、若い世代にワイズの存在を知ってもらおう。

(松浦 孝次)

編集後記

今月号は紙面が足りないほど、たくさんの情報を寄せていただきました。まだ、「とさばりカーニバル」と「YMCA ひろば」を掲載する余白がなかったことは残念ですが、また皆さんにご報告する機会もあるかと思えます。

海外関係に 1 ページを割くなど、わがクラブらしい特色のあるものになりました。

中村 茂高